

テキスト解析を用いた、胎盤 MRI 画像による産科的リスク評価

1. 研究の対象

2005年1月～2023年12月に、秋田大学医学部附属病院で癒着胎盤の検索を目的として妊娠中にMRIを受けられた方

2. 研究目的・方法・期間

【目的・方法】

癒着胎盤は、絨毛組織が子宮筋層に侵入する疾患で、多量出血により母体の命に関わることがある重篤な疾患です。しかしながら、妊娠中の癒着胎盤の予測は容易ではありません。最近ではMRI画像解析による癒着胎盤の予測の研究が進み、MRI画像の精密解析がなされるようになりました。研究分担者の森を含む研究グループによるテキスト解析の報告では、癒着胎盤を高い診断能の予測できることを報告しています（Ren H, Mori Nら。Abdom Radiol (NY). 2021）。

この研究では、当院の症例データをテキスト解析することで、癒着胎盤をどれほど正確に診断できるかの追試験と、解析画像枚数を減らしても高い診断能を維持できるか、出血量が予測できるか、手術手技の困難さの予測ができるか、を検討します。

本研究によって、妊娠中のMRI画像解析による癒着胎盤の予測が進むことが期待され、予期せぬ出血を避けることで母体にとって安全な分娩取扱いが可能となると考えています。

【期間】

総研究期間：2年半[研究実施許可日 ～ 2026年12月31日予定]

利用を開始する予定日：2024年4月25日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・MRI画像

・情報：年齢、妊娠歴、診断名、分娩週数、分娩経過(手術記録含む)、出血量、MRIを撮影した妊娠週数、輸血の有無、癒着胎盤の有無、流産や帝王切開した既往の有無、子宮手術の有無、病理検査の有無

4. 研究組織

<研究施設>

秋田大学医学部

<研究責任者>

産婦人科学講座 和賀正人

<研究分担者>

産婦人科学講座 三浦広志

放射線医学講座 森菜緒子

<データセンターおよび個人情報管理者>

データセンター：産婦人科学講座

個人情報管理者：三浦広志

5. 研究参加拒否について

画像データ・情報が本研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、本研究の研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

6. 個人情報保護について

本研究で取り扱うデータには、個人を直接特定できないように、氏名・生年月日・カルテ ID 等の個人を識別できることとなる記述等を削除し、当学が管理する対照表で特定できる最低限の情報しか付属しません(カルテ ID に代わる本研究のための ID を付与して管理)。

7. 利益相反について

本研究を行うことにより、研究者が不当に企業から利益を受けるようなこと(利益相反)はありません。本研究を行うにあたり、利益相反申告書にて利益相反が無いことを秋田大学利益相反マネジメント委員会へ申告しております。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学医学部 産婦人科学講座

和賀正人

秋田市本道 1-1-1

電話番号 018-884-6163

-----以上